

大人のための情報モラル通信

SNS等でのなりすまし被害について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

最近、SNSの**なりすまし被害**が増えています。他の誰かになりすましてSNSを作成し、その人の評判が下がるような非常識な書き込みをするといったものです。

わいせつな内容を書き込んだり、誰かの悪口を書き込んだりしてトラブルを引き起こし相手を困らせる・というような非常に**悪質な嫌がらせ・いじめ**です。



～**Bさん**になりすます**Aさん**～

なお、インターネットでは誹謗中傷の書き込みも、なりすましのSNSも、**ネットに接続した記録が残っている**ので、誰が書き込んだのか突き止められることがあります。

犯罪に該当する恐れのある行為なので、内容によっては警察から取り調べを受けたり、相手から損害賠償請求を受けたりして責任を追及されるかもしれません。

★なりすましを防ぐのは難しい★

SNSで自分の写真や動画等を投稿する人は、多くの人に自分に関する情報を公開しています。なんてことない投稿でも、中には嫉妬等の**嫌な気持ちを抱く人**がいるかもしれません。

何らかの理由で悪意を抱いた人が「なりすましをする」場合、必要なのは相手の顔写真と相手に関する情報だけです。逆に言うと、そのような情報がなければ**被害の確率を減らせます**。

理不尽ですが、倫理的・道徳的に落ち度がなくても被害を受けることはあります。相手が悪いのは当然ですが、**ダメージを受けるのは自分自身**です。相手を特定して責任を取らせることができても、そのダメージは回復できないかもしれません。



不道徳的な行為や社会的に重い責任を負うような行為でも、平気で行う人は存在します。今のネット空間は「誰でも」アクセスできます。**自分の画像や動画・生活情報等を公開するリスク**や、**恨みや嫉妬を買うリスク**は、大人でなければ子どもに伝えられません。